

FMCTフレンズに関する共同報道発表（仮訳）

オーストラリア、ブラジル、カナダ、フランス、ドイツ、イタリア、日本、オランダ、ナイジェリア、フィリピン、英国、米国各国のハイレベルの代表は、国連総会ハイレベルウィークの合間に、2024年9月23日にニューヨークで核分裂性物質生産禁止条約（FMCT）フレンズを立ち上げるためのハイレベル会合を開催した。

フレンズ各国の代表は、核兵器のない世界を実現することは国際社会の共通の目標であり、核兵器やその他の核爆発装置用の核分裂性物質の生産を禁止する非差別的、多国間、かつ効果的で、検証可能な条約は、不安定化のリスクが高まる中で、核軍縮と核不拡散の取り組みに大きく实际的に貢献することになることを再確認した。

このため、参加各国の代表は、核軍備競争の再発を阻止するための優先行動としてFMCTへの政治的関心を維持・強化し、FMCT交渉の即時開始への支持拡大に貢献するという、グループの共通目標の実現に向けて緊密に協力することを確認した。各国代表は、軍縮会議（CD）が、CD/1299に準じた形で、これを優先事項として取り組むことを期待することを強調した。

参加各国の代表はまた、核兵器やその他の核爆発装置用の核分裂性物質の生産の自主的モラトリアム、核分裂性物質の生産施設の解体あるいは平和利用への転換、FMCTに関する実質的な提案、その他の措置として民生用プルトニウムの備蓄に関する報告等、これまでの行動と努力をFMCT発効までの重要な暫定措置として歓迎した。この点に関して、各国代表は、2023年に国連総会決議（A/78/RES/28）で140か国以上が求めているように、透明性と信頼醸成措置に取り組むことを含め、関係国が具体的な行動を取るよう促した。

核兵器国と非核兵器国の両方が参加する地域横断グループであるFMCTフレンズは、FMCTの交渉開始という長く遅滞してきた目標を前進させるために、各国やその他パートナーと協力する用意がある。

（了）